

# 脚光!



IoTのツールとして

温湿度・照度センサーユニット

金属プレス加工のチトセ工業（☎072・984・5601）は、新規事業で防水性の温湿度・照度などのセンサーユニットを開発。IoTのツールとして産業界、農業関連から脚光を浴びている。

「経営を安定するために何か新しいことに挑戦しようと思いました」と中西啓文社長。2010年に事業開発部を立ち上げ、社内ベンチャーで研究を始めたのがトマト栽培のセンサー。

大学や農業団体と共同でトマトの育成に欠かせない温度・湿度・照度センサーを研

## 金属プレス加工の チトセ工業

究。2014年頃には無線の温湿度照度データロガー「ログビー」の開発に成功、栽培農家に発売した。

「農家さんの反応は意外に鈍かった」と中西さん。営業部の



産業界、農業関連から  
注目

所属だった娘の中西悠さんと一緒にHPに掲載するなど、デジタルマーケティングに取り組む。その後、コンクリート養生などでセンサーが売れ出し、販売実績を伸ばす。

52×69×17ミリのコンパクトサイズ、親機と子機のセット価格で7万円の手軽さが受け、産業界のIoT戦略で一気に注目。農業、食品など多彩な業界で実績をあげる。

昨年1400万円から今年は3000万円の売り上げを見込む。CO<sub>2</sub>センサーの開発、無線の飛距離を年末までに150mから10kmまで拡大する計画。

全国のモノづくり業者8社とコラボ、金型製作機にセンサーを取り付け稼働をチェック、空があれば対応する共同受注の実証実験にも取り組んでいる。

※プロフィール=1962年の創業。東大阪市横小路町4丁目に本社工場を置き、金属プレス加工、無酸化熱処理プレーシング（ロウ付け）などを行う。従業員は約50人で年商は10億円。来年7月には近くに新本社工場を建設、自社センサーを活用してIoTのモデル工場を計画。「将来は3本柱の1つにセンサー事業を育成したい」と中西社長は期待している。